

# 泌尿器科

## ● スタッフ（平成28年10月1日現在）

診療科長 大野 芳正  
 医局長 中神 義弘  
 病棟医長 下平 憲治  
 外来医長 並木 一典

医師数 常勤 16名  
 非常勤 8名

## ● 診療科の特徴

### 1. 特色

泌尿器科の外来は午前中3診察室にて診察を行っており、午後は各種専門外来を行っている。一日の来院患者数は約140人となっている。病棟定床数は50床で、ほぼ満床で稼働している。入院診療は、スタッフとチーフレジデントを中心とした班によって行っている。1週間に15-20件の手術が組まれており、泌尿器科小手術から、前立腺癌、腎臓癌に対するロボット支援手術や膀胱全摘除術といった大手術まで、バランスよく施行されている。

### 2. 主な診療対象疾患

#### 1) 悪性疾患

腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍、陰茎癌、後腹膜腫瘍など

#### 2) 良性疾患

前立腺肥大症、尿路結石症、副腎腫瘍、水腎症、尿管狭窄、急性陰囊症など

## ● 診療体制と実績

泌尿器科で2016年に行われた手術について図1にまとめた。特に2006年に国内で初めて前立腺癌に対しダヴィンチを用いたロボット支援下前立腺全摘除術を導入し、現在に至るまで国内随一の手術実績をおさめている（図2）。また、前立腺癌の治療では、ロボット手術だけでなく、小線源治療、強度変調放射線治療（IMRT）、薬物療法、ラジウムによる骨転移治療など、種々の治療が可能である。腎臓癌、腎盂尿管癌に対しては腹腔鏡下腎（尿管）摘除術を、小径腎癌に対してはロボット支援下腎部分切除術を行っている。一方、浸潤性膀胱癌に対する膀胱全摘除術では、機能温存を目指した自然排尿型代用膀胱造設術を積極的に行っている。患者の希望やQOLを考慮し、様々な治療が行えるよう体制を整えている。

図1 2016年の手術実績

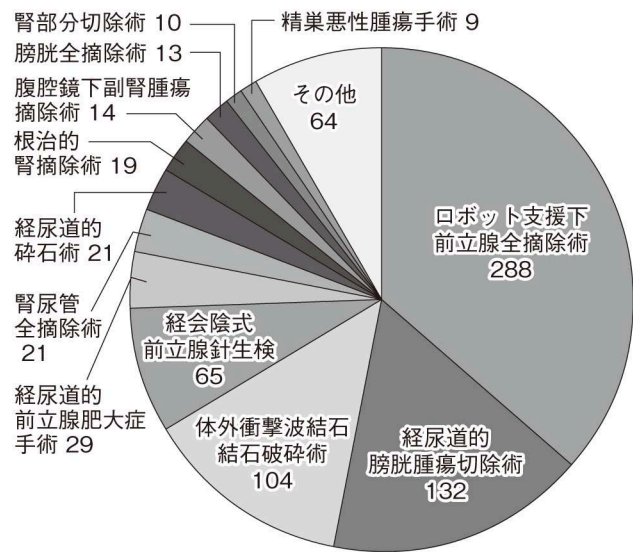


図2 ロボット支援下前立腺全摘除術の過去5年間の推移

